

記者会見資料

《 教育総務課 》

◎祭頭祭の開催

祭頭祭は、鹿島神宮で行われる年中行事の中でも最も規模が大きく、勇壮な祭りです。

祭頭祭の起源は奈良時代の天武朝とも平安時代とも諸説がありますが、現存文献として最も古いのは建仁4年（1204）で、この時は、片野（宮中字厨台）・長保寺と平井・宝持院が祭りの頭人を務めた記録が残っています。

東日本大震災は、鹿行地方では歴史上かつてなかった津波や液状化現象の被害をもたらし、大きな打撃を受けました。このため例年行っている当番地区による囃しが困難となりましたが、800年以上の長い歴史を持つ祭頭祭（国選択無形民俗文化財「鹿島の祭頭祭」）を中止にはしないという声上がり、このたびは特別に鹿嶋市・神栖市・鉾田市で協力して立ち上げている「祭頭囃保存会」が一般参加者を募って実施することになりました。

囃し人や踊り人、大総督も公募し、総勢約750名、一人ひとりが主役となり、震災復興の願いを込めた熱い思いと震災被害の不幸に負けず前進する鹿嶋の元気な姿を日本中に届けたいと思っています。

- 1 期 日 平成24年3月9日（金）午前11時30分～午後4時頃まで
- 2 会 場 鹿島神宮ほか
- 3 本 陣 鹿嶋市商工会館
- 4 日 程 祭頭囃し
 - ・午前11時30分から本陣にて出陣式（26組）
 - ・正午 第1陣出発（伊勢神社⇒仲町通りへ）
 - ・午後0時45分から祭頭囃し開始（仲町⇒角内⇒大町⇒神宮）
※午後3時頃 第1陣神宮楼門着
 - ・午後3時40分頃 総囃し（囃し人が一斉に境内で囃す）
 - ・午後4時頃終了
- 5 問合せ 祭頭囃保存会事務局（鹿嶋市教育委員会教育総務課内）